

ディスカッション・タイム 模範としてのイエス様

全てにおいて私たちの模範であるイエス様は、人間関係において自由を生み出す方法について示しておられます。イエス様の模範に従って、私たちはどのようにこれらの原則を実際の生活に適用していくことができるでしょうか。

1. **友達の評判を守る**—イエス様の例：イエス様はマリアのことも、彼女を姦淫の罪で訴える指導者たちのこともすべてご存知でした。しかしイエス様は風に吹かれて消えるようにと、彼らの罪を塵の上に書かれました。彼らの罪を公にはなさらなかったのです。イエス様は彼らの評判を守られました。（ヨハネによる福音書 8：2-11）

2. **批判に慎重になる**—イエス様の例：「イエスは人々とのまじわりに、最大の機知と思いやりのある親切な注意とを働かされた。主は、決して無作法だったり、不必要にきびしいことばを出したり、感じやすい魂に不必要な苦痛を与えたりなどされなかった。主は、人間の弱さを非難されなかった。イエスは、偽善、不信、不義を恐れるところなく攻撃されたが、激しい譴責のことばを出される時には、その声に涙があった。」各時代の希望 p84, 85

3. **受容の言葉を用いる**—イエス様の例：イエス様は金持ち、貧しい人、支配者、しもべ、汚れた者、全ての人を受け入れました。「どの魂もイエスの御目にはとうとかった。すべての人のうちにイエスは墮落した魂をごらんになり、その魂を救うことがイエスの使命であった。」各時代の希望 p85

4. **一人の時間を確保する**—イエス様の例：「そして群衆を解散させてから、祈るためにひそかに山へ登られた。」（マタイによる福音書 14：23、口語訳）

5. **他の人間関係も推奨する**—イエス様の例：「それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として…」（マタイによる福音書 28：19、口語訳）

6. **人間関係の変化に備える**—イエス様の例：「わたしは父にお願いしよう。そうすれば、父は別に助け主を送って、いつまでもあなたがたと共におらせて下さるであろう。…わたしはあなたがたを捨てて孤児とはしない。あなたがたのところに帰って来る。」（ヨハネによる福音書 14：16&18、口語訳）

—adapted from McGinnis, A. L. (1978). The Friendship Factor: How To Get Closer To The People You Care For. Minneapolis, NM: Augsburg Publishing House.